



令和5年度

# 学校要覧



岡山大学教育学部附属特別支援学校（知的障害教育）

〒703-8282 岡山市中区平井三丁目914番地

TEL：(086) 277-7431(代) FAX：(086) 277-7673

Mail：tokushi@okayama-u.ac.jp URL：http://futoku.okayama-u.ac.jp/

# 目 次

1. 本校の使命 .....	1
2. 沿 革 .....	1
3. 教育のめあて .....	2
(1)学校教育目標	
(2)目指す学校の姿	
(3)目指す児童生徒の姿	
4. 学校経営方針.....	3
5. 主な年間行事 .....	4
6. 教育課程 .....	5
(1)小学部	
(2)中学部	
(3)高等部	
(4)発達支援室	
7. 児童生徒の状況 .....	7
(1)児童生徒数（学級・男女別）	
(2)通学区域	
8. 卒業生の進路状況 .....	7
(1)高等部卒業生の進路状況	
(2)高等部卒業生の就職先	
(3)就職先・現場実習の様子	
9. 教育実習 .....	8
10. 教育相談 .....	8
11. 入学案内 .....	8
12. 研究のあゆみ .....	9
13. 研究発表会の案内 .....	9
14. 校務分掌組織 .....	10
15. 教職員 .....	10
16. 教室配置図 .....	11
17. 学校案内図 .....	12

## 校 歌

青ぎりあおおお あのように  
枝もすくすく いせいよく

学校の庭に 茂ってる

ぼくらも伸びよう がんばろう

雨にも風にも 負けないで

小鳥はこやで 遊んでる

声もやさしく むつまじく

学校の庭で 育ってる

わたしらも学ぼう このように

仲よく楽しく 手をとって

金重博之 作詞  
久坂恭一 補作  
徳田公裕 作曲  
姜川欣三郎 補作



# 1. 本校の使命

---

- 1) 知的障害特別支援学校として、知的な障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指した教育を行う。
- 2) 岡山大学教育学部との連携の下、特別支援教育に関する実践研究を行うとともに、関係機関とも連携して各種の研修を行い、地域における特別支援教育のセンター的役割を果たす。
- 3) 教員養成において重要な位置を占めている教育実習の役割を担い、教育学部生の教育実践に関わる学びの場とする。

# 2. 沿革

---

- 昭和25年4月 附属小学校に学習不振児・中間児の特別学級を新設  
27年4月 附属小学校に精神薄弱特殊学級（1学級）を新設  
30年4月 附属小学校の特殊学級を1学級増設  
34年4月 附属中学校に特殊学級（1学級）を新設  
40年4月 附属小・中学校特殊学級を改組し、附属養護学校（小学部3学級・中学部3学級）を岡山市門田の附属小・中学校敷地内に新設  
43年3月 現在地（岡山市平井三丁目914番地）に新校舎完成  
43年4月 新設校舎（高等部棟を除く）に移転完了・高等部（1学級）を新設  
44年4月 高等部1学級増設  
45年3月 高等部棟完成  
45年6月 小学部を対象として治療教室を特設  
47年3月 プール完成  
50年4月 創立10周年  
51年3月 運動場拡張・整備  
54年3月 築庭・中庭の整備及び諸施設・設備完了  
56年4月 治療教育部を設置  
59年3月 運動場東側（国旗掲揚台付近）整備  
60年4月 創立20周年  
平成5年9月 体育館完成  
6年4月 創立30周年  
6年12月 校舎・プールの全面改修工事及び日常生活訓練棟の新築工事完成  
7年9月 創立30周年記念誌発刊並びに創立30周年記念モニュメント建立  
8年11月 全館ガス暖房工事完成  
9年3月 コンピューターシステム設置  
12年3月 給食室改修工事完成  
14年2月 門扉、フェンス改修工事  
15年1月 日常生活訓練棟の愛称を「あおぎりハウス」と決定  
15年3月 治療教育部を発達支援室に改称、合同教官室設置、非常通報装置設置  
16年3月 身体障害者用トイレ設置  
16年4月 創立40周年 国立大学の法人化に伴い、岡山大学は国立大学法人岡山大学となる。  
16年9月 小学部トイレ全面改修  
19年3月 耐震化・バリアフリー化工事、高圧受変電設備の増設、普通教室にエアコン設置  
19年4月 岡山大学教育学部附属養護学校から、岡山大学教育学部附属特別支援学校に校名変更  
22年3月 地上デジタル放送関連設備の導入（テレビ、アンテナ）  
25年3月 高等部トイレ全面改修  
25年3月 木工室をのびのびルーム（感覚統合訓練室）に改装  
26年4月 創立50周年  
26年9月 給食棟の耐震化工事  
27年11月 創立50周年記念誌発刊並びに校旗を新調  
令和2年5月 校舎全面改修工事完成  
3年3月 あおぎりハウス、体育館、給食棟のトイレ、照明、空調の改修完了

### 3.教育のめあて

---

#### (1) 学校教育目標

小学部・中学部・高等部の課程を通して、調和のある一貫した指導を行い、児童生徒の全人的な発達を促し、主体的に社会生活に参加できる人間の育成を目指す。

#### (2) 目指す学校の姿

- ・子どもたちが自立し、社会に参加できる人間の育成を目指す学校。
- ・特別支援教育に理解ある教師を志す学生を育てる学校。
- ・地域における特別支援教育のセンター的な役割を果たす学校。



#### (3) 目指す児童生徒の姿

小学部「みんないっしょにのびのびと」

- ・基本的な生活習慣を身に付け、興味関心を広げ、意欲的に取り組む児童。



遊びの指導（小学部）

中学部「仲間とともに生き生きと」

- ・他者と関わりながら、生活経験を拡大し、主体的に社会参加しようとする生徒。



販売学習（中学部）

高等部「心豊かにたくましく」

- ・目的達成に向け、課題を解決しながら、自分のもてる力を最大限に発揮し、取り組む生徒。



校内現場実習（高等部）

## 4. 学校経営方針

1. 家庭や地域等と連携し、児童生徒の自立と社会参加の実現に必要な力を育成するため、日々の教育実践を改善しながら、より質の高い教育を目指す。

・本校教職員が自律的、主体的に同僚と学び合うとともに、1つのチームとなって対応することで、教育効果を高め、喜びを共有する。

・学習指導要領の改訂の主旨を踏まえ、指導と評価の一体化に基づき、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに取り組む。

・グローバル社会に貢献するため、SDGs達成を目指して取り組む大学と基本的理念を共有し、教育学部等と連携しながら、創意ある教育活動を行う。

2. 附属学校に求められる教員研修の「地域の拠点」としての役割を果たす取組を推進する。

・岡山県・岡山市教育委員会や岡山県特別支援学校長会等と連携し、本校において体験型教員研修を積極的に受け入れ、本校教員との学び合いの場とする。

・県内及び他大学附属の特別支援学校等において本校教員が体験型教員研修を行い、そこでの学びを日々の教育実践や研究活動に生かす。

・本校教職員及び学部教員が話題提供を行う「授業づくり研修会」を毎月1回程度開催し、相互に学び合える場とし、地域の教育関係者の専門性向上にかかわるセンター的機能を果たす。



全校授業研究会（中学部3年 生活単元）



自立活動検討会（高等部）



岡山大学SDGs推進表彰（高等部）



体験型教員研修（授業参加）



授業づくり研修会（実践発表）



授業づくり研修会（音楽実技）

## 5. 主な年間行事

月	全 校	小学部	中学部	高等部	PTA (P)/同窓会(同)
4	前期始業式 入学式 学級・学部懇談 家庭訪問	新入生歓迎集会	新入生歓迎集会	新入生歓迎会	新旧役員会 (P) 幹事会 (同) 廃品回収 (P)
5	学習参観日 PTA総会 運動会			就職相談会 (3年)	PTA総会 (P) 附属学校園PTA連絡協 議会 (P)
6	新入生個人懇談 水泳指導 学校公開 介護等体験			前期現場実習	廃品回収 (P)
7	学習参観日・学級 (部) 懇談 夏休み前集会 卒業生アフターケア		販売学習		PTA新聞発行(P) 総会 (同)
8	除草作業				除草作業 (P)
9	夏休み後集会 学校公開 個人懇談 前期終業式			修学旅行 (3年)	廃品回収 (P) あすにはばたく集い (P)
10	後期始業式 入学選考	修学旅行 (3組)	修学旅行 (3年)	後期現場実習	全附連PTA総会 (P)
11		秋の遠足			一日旅行(同) 附属学校園PTA連絡協 議会 (P) 中附連PTA総会 (P) 廃品回収 (P)
12	学習発表会 冬休み前集会				
1	冬休み後集会 進路を考える会・学級 懇談・PTA評議員会 介護等体験 研究発表会			移行支援会議(3年) 販売学習	評議員会 (P) 廃品回収 (P)
2	個人懇談	附小との交流	作業週間・販売学習		ボウリング大会(同) 新役員会(P)
3	卒業証書授与式 修了式	卒業生を送る会	3年生を送る会	3年生を送る会	PTA新聞発行(P) 廃品回収 (P)

# 6. 教育課程

## (1) 小学部

### 週時程表

	月			火			水			木			金		
8:45	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
9:10	登校														
9:10	着替え・朝の支度(日常生活の指導)														
9:35	ひまわりタイム														
9:55	朝の運動(体育)														
10:10	朝の会(日常生活の指導)														
10:50	ことば・かず (国語・算数)			体育			ことば・かず			音楽 図画 工作			ことば・かず		
11:05	休憩														
12:05	生活単元学習/生活学習/遊びの指導(1・2組のみ)														
12:05	給食・歯磨き等(日常生活の指導)・休憩														
13:30	*日常生活の指導			休憩			*日常生活の指導			*日常生活の指導			*日常生活の指導		
13:30	13:30下校			音楽			13:30下校			13:30下校			音楽 図画 工作		
14:30	*日常生活の指導			*日常生活の指導			*日常生活の指導			*日常生活の指導			*日常生活の指導		
15:00	15:00下校			15:00下校			15:00下校			15:00下校			15:00下校		

\*日常生活の指導には、着替え、帰りの支度、帰りの会を含む

### 小学部備考

- ・「生活単元学習」：児童の生活に即した具体的・実際の活動を通して、意欲的な姿勢を育てていくとともに、自立的な生活に必要な事柄を総合的に身に付けていく学習
- ・「生活学習」：家庭生活、地域生活に必要な力や職業生活につながる力、それらの基盤となる力を育てる学習
- ・「遊びの指導」：遊びを学習活動の中心に据え、人や物と関わりながら、主体的に遊ぶ姿を目指し、活発に体を動かしたり、他者と関わったりしながら諸活動に対する意欲を高めたりする学習
- ・「ことば・かず」：国語・算数の教科や言語・視知覚を主とした基礎能力にかかわる内容を取り上げ、個々の実態に応じた指導課題を選定し、小集団で行う学習
- ・「ひまわりタイム」：小学部全体で行う集会活動。みんなの前で発表したり友だちと一緒に活動したりすることを通して、社会性や自主性を育てる学習

## (2) 中学部

### 週時程表

	月	火	水	木	金
	登校				
8:45	更衣等(日常生活の指導)				
9:00	朝の会(日常生活の指導)				
9:20	朝の運動(保健体育)				
9:50	部集会				
10:05	日常生活の指導・休憩				
10:45	国語・数学				チャレンジタイム
11:00	休憩				
12:10	学級活動/ 委員会活動 (特別活動)	音楽 美術	生活単元学習/生活学習		
12:10	給食・歯磨き等(日常生活の指導)・休憩				
13:20	作業学習 [工芸/ 総合サービス]				美術 音楽
13:20	作業学習 [工芸/ 総合サービス]				音楽
13:30	13:30下校				保健体育
14:30	清掃・更衣等(日常生活の指導)				
15:00	帰りの会(日常生活の指導)				
15:00	15:15下校				15:15下校



図画工作



生活単元学習



保健体育



美術

### 中学部備考

- ・「生活単元学習」：生徒の生活に即した具体的・実地的な活動を通して、意欲的な姿勢を育てていくとともに、自立的な生活に必要な事柄を総合的に身に付けていく学習
- ・「生活学習」：家庭生活、地域生活、職業生活に必要な力を育てる学習
- ・「作業学習」：工芸、総合サービスの活動を通して、働く意欲や自信を育てる学習
- ・「チャレンジタイム」：総合的な学習の時間として、生徒の実態に応じて、横断的・総合的な活動や生徒の興味関心に基づく活動等を通して、学び方やものの考え方を身に付け、主体性を育てる学習

## (3) 高等部

### 週時程表

	月	火	水	木	金
8:45	登校				
8:50	更衣等（日常生活の指導）				
9:10	朝礼	朝の運動			
9:35	ホームルーム活動				
10:15	作業学習	生活学習 B	音楽 美術	作業学習	作業学習
10:30		休憩	休憩		
10:45		委員会／探究	生活学習 B		
11:00					
12:10	給食・歯磨き等（日常生活の指導）・休憩				
13:20	生活単元学習 ／ 生活学習 A	生活単元学習 ／ 生活学習 A	保健体育	更衣等（日生） ホームルーム活動 13:30 下校	生活単元学習 ／ 生活学習 A
14:30	清掃・更衣等（日常生活の指導） ホームルーム活動				清掃・更衣等（日生） ホームルーム活動
15:20	15:20 下校				15:20 下校



音楽



作業学習（陶芸班）

### 高等部備考

- ・「生活学習」：家庭生活や地域生活、職業生活に関する内容を中心に扱う学習。週時程上の「生活学習 A」は学年を単位とした授業形態とし、「生活学習 B」は高等部全体を課題別に分けた縦割りグループで行う授業形態
- ・「生活単元学習」：生徒の生活に即した具体的・実地的な活動を通して、意欲的な姿勢を育てていくとともに、自立的な生活に必要な事柄を総合的に身に付けていく学習
- ・「作業学習」：農耕と陶芸の活動を通して、職業生活や社会生活に必要な知識、技能、態度を育て、労働に対するやりがいや意欲などの実践的な態度を高める学習
- ・「委員会／探究」：生徒会専門委員会（代表、掲示・図書、美化・保健）の活動と、理科的な分野や交流的な活動を中心に学習し、さらに深めたい内容に取り組んでいく活動

## (4) 発達支援室

### 自立活動の時間における指導

- ・コミュニケーション、人間関係の形成、心理的な安定などについて、個別の指導が有効であると思われる児童生徒を抽出して指導を行う（今年度の対象児童生徒は15名程度）
- ・指導にあたっては、個々の児童生徒の障害の状態や発達の程度等の的確な把握に基づき、指導のねらい及び指導内容を明確にし、個別の指導計画を作成する
- ・所属部・学級、保護者、関係諸機関との連携を図りながら指導を行う
- ・対象児童生徒一人について、週2回の指導（1回の指導時間は40分）を原則とする



自立活動（抽出指導）



### 教育活動全体を通じて行う自立活動の支援

- ・個別の指導計画の作成・評価の際に、学級担任と相談・検討を行う
- ・個々の児童生徒に対して、諸検査を実施する



## 7. 児童生徒の状況

### (1) 児童生徒数 (学級・男女別)

学部	小学部				中学部				高等部				総計
	1組	2組	3組	小計	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
男	3	5	4	12	4	4	4	12	7	1	5	13	37
女	3	1	2	6	1	2	2	5	1	6	2	9	20
計	6	6	6	18	5	6	6	17	8	7	7	22	57

### (2) 通学区域

	小学部			中学部			高等部			総計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
岡山市	12	6	18	11	2	13	11	9	20	51
倉敷市				1	2	3	2		2	5
瀬戸内市					1	1				1
計	12	6	18	12	5	17	13	9	22	57

## 8. 卒業生の進路状況

### (1) 高等部卒業生の進路状況

卒業年次	生徒数			進路先							
	男	女	計	就職	家業	施設	進学	就労B	自立訓練・就労移行	生活介護	その他
昭和45年～平成30年	285	167	452	238	20	186	1				6
令和元～3年	11	11	22	8	0		0	8	5	0	0
令和4年	5	3	8	0	0		0	3	3	1	1
合計	301	181	482	246	20	186	1	11	8	1	6

昭和45年度が第1期

※就職は、就労継続支援A型事業所を含む。

※令和元年より施設を就労B、自立訓練・就労移行、生活介護に分別する。

### (2) 高等部卒業生の就職先

就職先	人数
スーパー品出し	1
木材加工	1
保育園補助	1
軽作業	1
運送業仕分け	1
小売り店惣菜加工	1
事業所清掃等	2
合計	8

(令和元年～4年)

### (3) 就職先・現場実習の様子



## 9. 教育実習

種 類	期 間
① 特別支援教育コース2年次特別支援教育実習 〈13名〉	1週間
② 特別支援教育コース3年次特別支援教育実習 特別支援教育特別専攻科特別支援教育実習 〈22名〉	3週間
③ 副免許Ⅰ期特別支援教育実習 副免許Ⅱ期特別支援教育実習 〈22名〉	2週間 2週間
④ 養護教諭養成課程3年次実習 〈4名〉	5日間
⑤ 養護教諭特別別科一日実習 養護教諭特別別科分散実習 〈21名〉 〈4名〉	1日 6日間

## 10. 教育相談

原則として、毎月第1、3火曜日（15：30～17：00）に、次のような相談に応じています。

- ① 発達相談、就学・進路相談
- ② 教育実践に関する相談（指導の内容と方法、アセスメントの方法、発達障害児への支援など）  
事前に、以下までご連絡ください。

Tel. (086) 277-7431 Fax. (086) 277-7673 （担当：特別支援教育コーディネーター）

Mail : [tokushi@okayama-u.ac.jp](mailto:tokushi@okayama-u.ac.jp)

## 11. 入学案内

### 1 応募資格

- ① 知的な障害があり、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由など、その他の障害が著しくない者
- ② 一人または保護者の付き添いで、自宅から安全に通学できる者
- ③ 小学部にあつては、令和6年度に小学部に就学見込みの者
- ④ 中学部にあつては、令和6年3月に小学校もしくは特別支援学校小学部を卒業見込みの者
- ⑤ 高等部にあつては、中学校もしくは特別支援学校中学部を卒業した者、または令和6年3月に中学校もしくは特別支援学校中学部を卒業見込みの者

### 2 募集人員

小学部、中学部、高等部それぞれ若干名

### 3 選考期間

- ① 募集公示 9月1日 予定
- ② 願書受付 10月初旬～中旬
- ③ 入学選考 10月末または11月初旬

### 4 出願手続き

事前に来校し、本校の実状を十分に理解した上で、入学願書等所定の書類を受け取ってください。  
本校の実状理解のために、次のような機会があります。あらかじめ電話連絡の上、ご来校ください。

- ① 就学相談 随時
- ② 授業参観 随時
- ③ 学校公開 第1回 6月8日(木) 第2回 9月7日(木)

### 5 選考方法

諸検査及び面接を行います。

詳しくは、募集要項（9月1日公示予定）をご覧ください。

## 1 2. 研究のあゆみ

昭和40年～42年	学習指導法	・ 学習指導法とその効果A ・ 指導過程の細分とその効果B ・ 転移を高める指導法C	
昭和43年～45年	治療教育と適応	1 (基礎能力)	(研究紀要 第1号)
昭和46年～47年	治療教育と適応	2-1 (基礎能力・自己概念・学力)	(研究紀要 第2号)
昭和48年～49年	治療教育と適応	2-2 (基礎能力・自己概念・学力) (基礎能力に関する指導内容表)	(研究紀要 第3号)
昭和50年～52年	治療教育と適応	2-3 (基礎能力・自己概念・学力) (行動観察目録)	(研究紀要 第4号)
昭和53年～54年	治療教育と適応	3-1 (基礎学力)	(研究紀要 第5号)
昭和55年～56年	治療教育と適応	3-2 (基礎学力) (国語科指導内容表)	(研究紀要 第6号)
昭和57年～61年	生産技能育成のための発達に即した系統的指導課題及び指導法の設計		(研究紀要 第7号) (研究紀要 第8号)
昭和62年～平成3年	自立的生活を支える課題解決力と行動体力		(研究紀要 第9号) (研究紀要 第10号)
平成4年～8年	生活者として子どもをとらえなおす		(研究紀要 第11号) (研究紀要 第12号)
平成9年～11年	個が生きる授業づくり		(研究紀要 第13号)
平成12年～13年	個に応じた指導を行うための個別の指導計画の作成と活用-I期		(研究紀要 第14号)
平成14年～15年	個別の指導計画の作成と活用-II期		(研究紀要 第15号)
平成16年～17年	一人一人の多様な教育的ニーズに応じた指導・支援の充実をめざして		(研究紀要 第16号)
平成18年～19年	社会性の育成を目指した授業づくり		(研究紀要 第17号)
平成20年～21年	一人一人のより豊かな社会参加を目指して		(研究紀要 第18号)
平成22年～23年	将来の社会生活を主体的に生きるために		(研究紀要 第19号)
平成24年～25年	確かな学びにつながる授業づくり～キャリア教育の充実を目指して～		(研究紀要 第20号)
平成26年～28年	知的障害のある児童生徒に対して教育活動全体で行う自立活動の指導		(研究紀要 第21号)
平成29年～令和元年	知的障害教育における「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくり		(研究紀要 第22号)
令和2年～4年	知的障害教育における「指導と評価の一体化」に基づいた個が生きる授業づくり		(研究紀要 第23号)

## 1 3. 研究発表会の案内

### 1 開催日

令和6年1月20日(土) (予定)

### 2 会場

岡山大学教育学部 附属特別支援学校

### 3 内容

全体会  
公開授業  
ポスター発表  
分科会  
講演

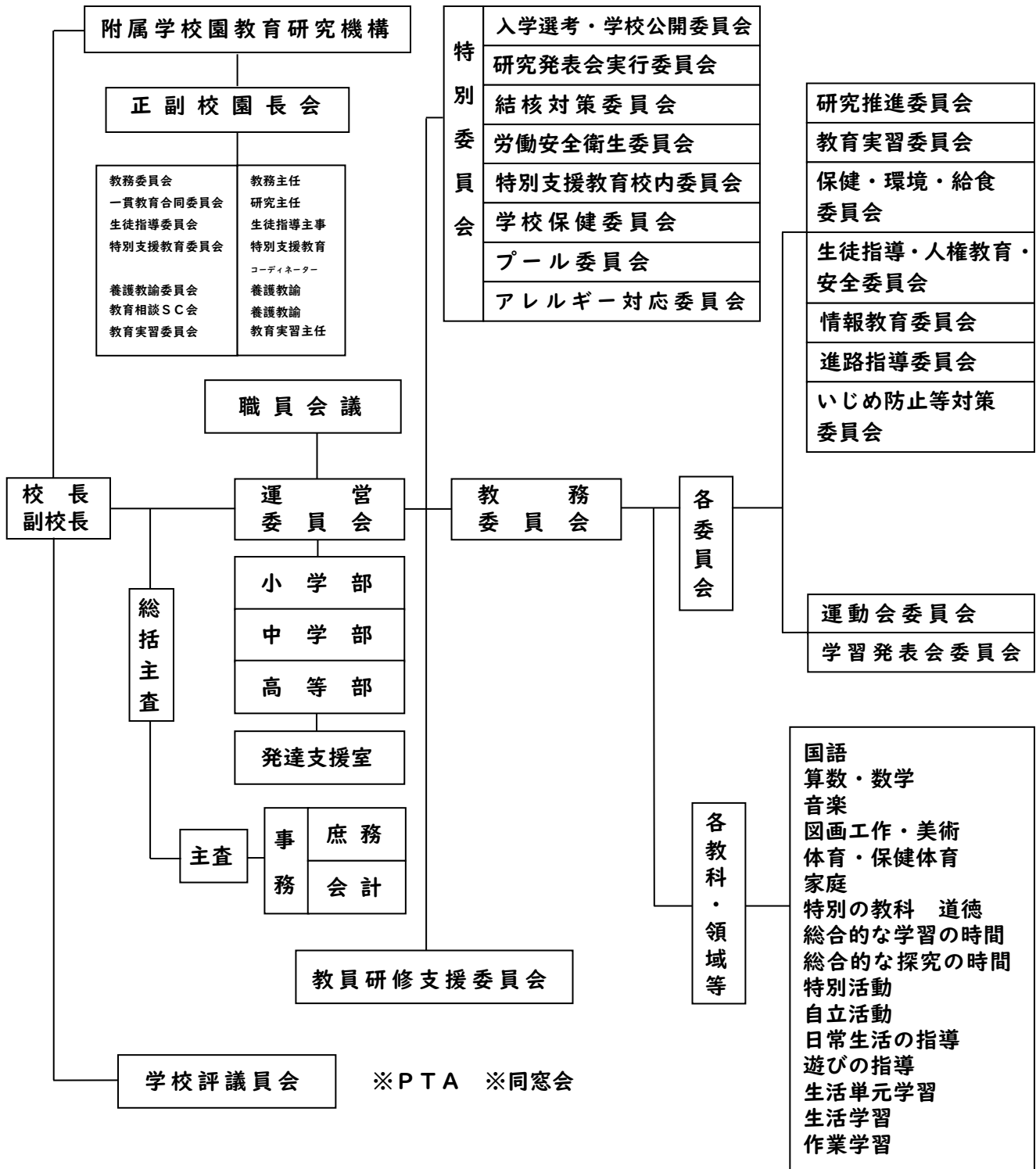


分科会の様子



全体会の様子

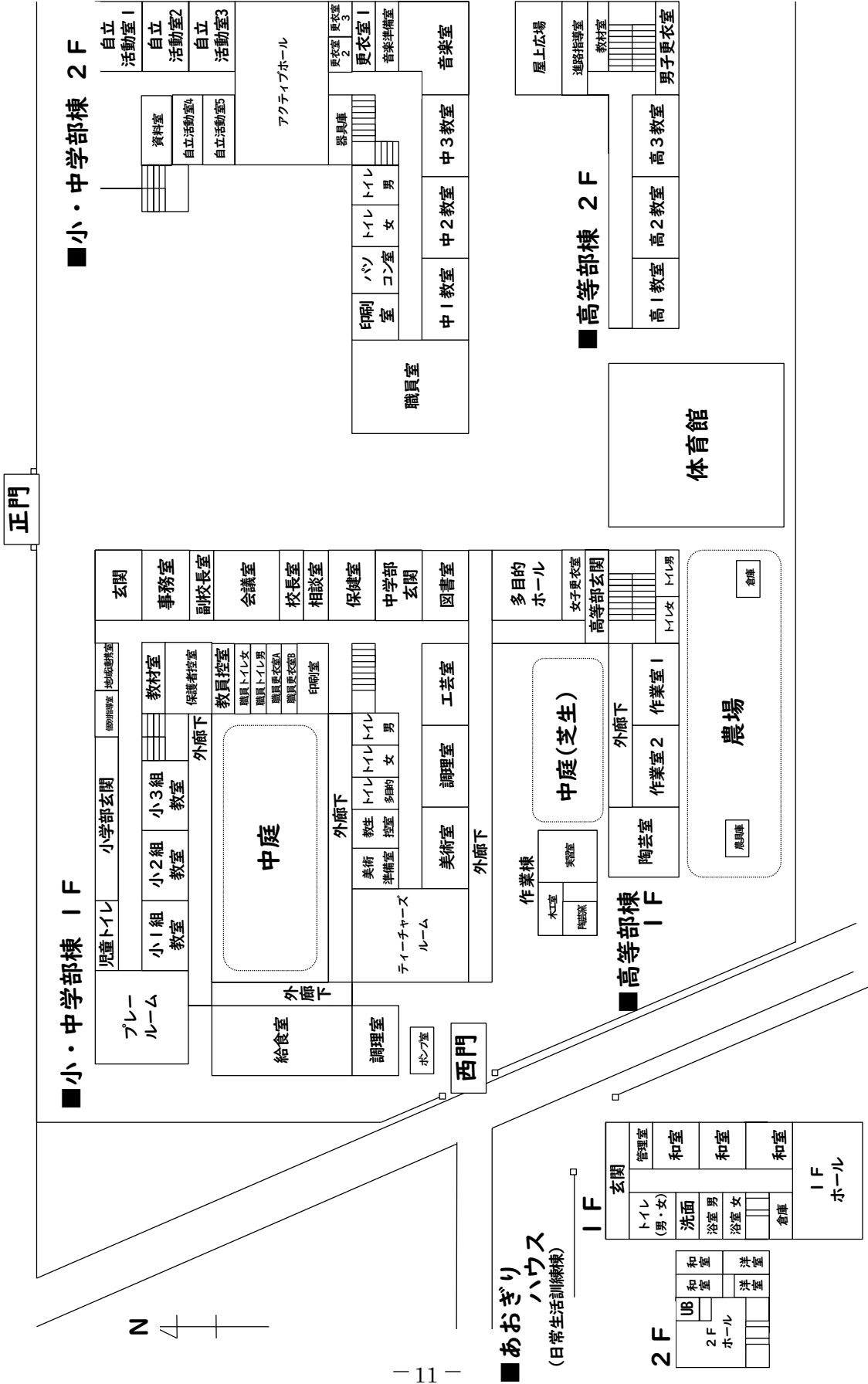
# 1 4. 校務分掌組織



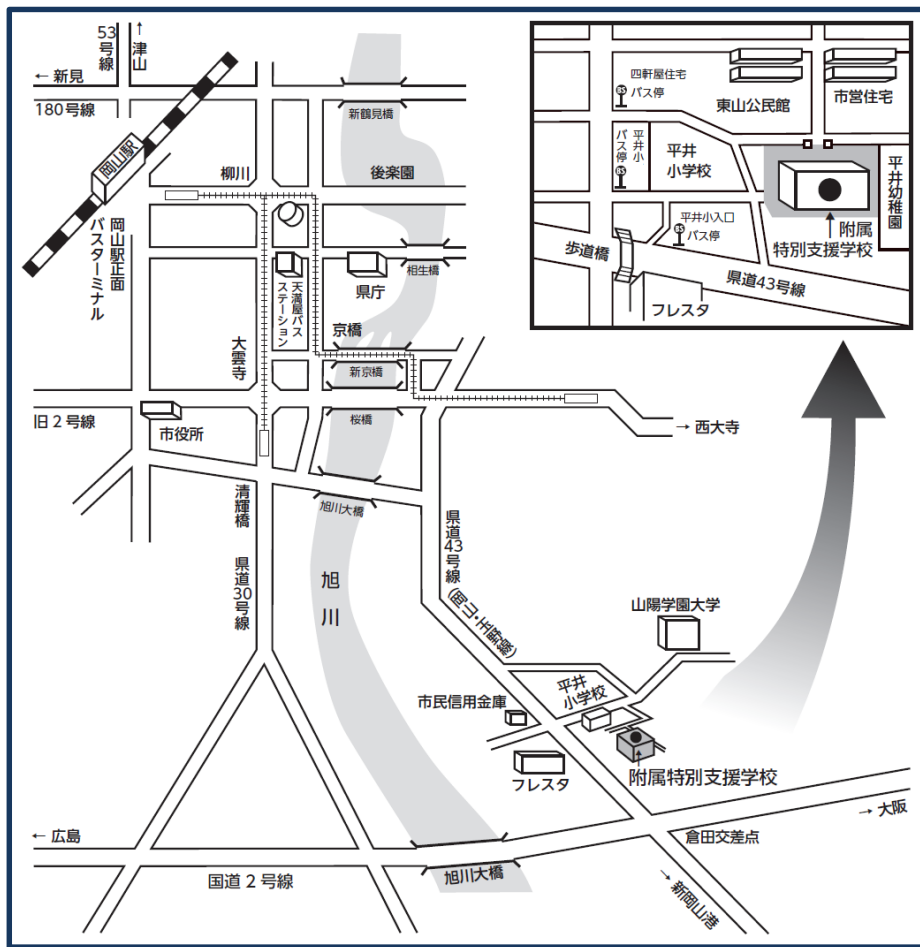
# 1 5. 教職員

職名	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	非常勤講師	主査	事務職員	事務補佐員	技能補佐員	臨時用務員	作業補佐員	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
数	1	1	3	23	1	1	4	2	1	1	1	2	1	4	1	1

# 16. 教 師 配 置 図



# 17. 学校案内図



## 公共交通機関のご案内

### 乗車バス（岡電バス）

- 新岡山港行
- 三幡南行
- 岡山ふれあいセンター行

### のりば

- 岡山駅前バスステーション1番
- 天満屋バスステーション1番

### 所要時間

- 岡山駅より約30分
- 天満屋より約20分

### 降車場所

- 山陽学園経由は「四軒屋住宅」
- 新道経由は「平井小学校入口」
- \*いずれの停留所からでも、徒歩約5分

スクールバスを運行しています

（原則は小学部の児童利用）

\*コースについて\*

県庁南→北消防署前→医学部東  
→網浜→本校





学校祭 (小学部)



作業学習 販売学習 (中学部)



農耕班 作業学習 (高等部)



体育 (高等部)

